

【総務部】

1, 課題点、改善策

- 1) 表彰式出席確認が遅くなった。今後は、全関西では開幕のタイミングで確認を行う。
- 2) エントリー時に ID 紛失が発覚したチームが 2 校あった。加盟手続き時に各チームへ確認を管理について徹底し、再発行について検討する。
- 3) 前年度優勝校への優勝杯返還の確認連絡が遅く急遽の連絡となった。次回からその他表彰物と同様にチームへ確認連絡を行うようにする。

2, 報告事項

- 1) ハーフタイムショーを、堺チアリーディングチーム様に依頼をした。
謝礼金は、4 万円で依頼を行った。大変好評であった。
- 2) 送付状にて、QR コードを添付し追加エントリーを確認して頂けるようにした。
会場に来られない場合でも追加変更エントリーを確認して頂けるようになった。

3, 検討事項

- 1) チームが 3 文字表記を紛失した場合の対応について。
無制限に再作成を行っているが、年間で複数枚紛失したチームがあったため、
チームへ再度、紛失防止の周知を行う。

【広報渉外部】

1, 課題点、改善策

- 1) 速報の誤りがあった。
→学生間での確認を徹底し、ミスをなくす。

2, 報告事項

- 1) YouTube 配信について
 - ・ 4 月 26 日（日）第 1 試合にて配信設定に不具合があり、1P 残り 6 分 21 秒より配を開始。その間、Instagram でライブ配信を行った。
 - ・ 新たなビデオカメラを購入し、配信行ったことで、これまで以上に高画質かつ安定した配信を実施することができた。
 - ・ YouTube 配信のコメント欄にて不適切なコメントが見られたため、広報渉外部長に報告のうえ削除の対応を行った。今後も続くことがあれば、コメント欄の閉鎖を検討する。
- 2) HP/SNS について
 - ・ TikTok にてゲームハイライトなどを週 2 投稿。関西大学女子バスケの魅力をもっと沢山の方々に伝えることができた。
 - ・ 有料日についてや会場の注意喚起を行い、観客への周知に繋がった。
- 3) スタッツについて
JBA のスタッツ規定に基づき、学連員内で記録方法の共有・確認を行ったが、チームとの間で一部スタッツの記録に相違が見られた。
新人戦に向けて、改めてスタッツ規定の認識の統一および確認を徹底する。

【財務部】

1, 課題点、改善策

新年度初めての大会で運営が久しぶりかつ割り当てを回していたことにより、パンフレットやお金の管理の面で、スムーズにいかない点が見られた。→財務部が頻繁に確認する

2, 報告事項

1) **【チーム参加費】**

@35000×36 チーム(±0 チーム)

合計金額 1,260,000 円

2) **【パンフレット】** 1000 部発注

・チーム販売：@700×396 冊(-14 冊)

合 計：277,200 円(-9800 円)

・一般販売：@800×120 冊

合 計：96,000 円(-1600 円)

・WEB 販売：@1000×22 冊(5/4 時点)

合 計：22,000 円(±0)

売上合計冊数 538 冊(5/4 時点)

売上合計金額 395,200 円

3) **【チケット】** 一般 500 枚、高校生 100 枚発注

・一般@1,000×275 人 合計：275,000 円

・高校生@500×6 人 合計：3,000 円

・その他 35 名

総入場者数 316 人(-6 人)

売上合計金額 278,000 円(-17,500 円)

4) **【オリジナルグッズ】** (4/17 時点)

・T シャツ：@2,600×241(+123 枚)

合 計：626,600 円(+296,200 円)

・ロング T シャツ：@3,000×247(+151 枚)

合 計：741,000 円(+433,800 円)

売上合計枚数 501 枚(+274 枚)

・タオル：@1,300×13

合 計：16,900 円

売上合計金額 1,384,500 円(+1,002,700 円)

5) **【収入合計】 3,317,700 円(+673,800 円)**

→4/17 時点ではあるが、今年度はオリジナルグッズを必須購入に戻したことにより、昨年度より収入が大きくなった。

→昨年度は大阪薫英女学院が来場していたため、高校生チケットの売上が好調であったが、今年度は来場がなかったため、売上が減少した。

【競技部】

1, 課題点、改善策

- 1) RACTAB ドーム会場設営の際に、コート設営に想定以上の時間を要し、第1試合の開始が定刻より30分遅延した。
→設営マニュアル（設営開始から終了までの工程を明示したタイムスケジュール）の作成、リングやサークルライナー等の機材の使用法の再確認、ならびにトラブル発生時の連絡先（施設の担当者/理事）の事前共有を徹底する。
→例年、同会場の設営は1時間半・約35名程度体制で実施しているが、近年はコートイン開始直前まで設営がずれ込む傾向にある。次年度以降は余裕をもった設営時間の確保および人員配置の見直しを検討する必要がある。
- 2) 車両申請の仕組みが十分に理解されておらず、申請不備が見受けられた。注意事項の確認不足や各チーム内における引継ぎの不十分さ等が要因として考えられる。
→大会開始直前のリマインド実施に加え、チームへ確実に伝達されるよう、メール文および資料の内容の見直しを図る。
- 3) コンディショニングスタッフの運用について、申請方法に関する周知が不十分であり、ビブス・スタッフ証の持参漏れが複数件確認された。また、専用の椅子を設けているが、ベンチ入りメンバーと同じところに着席している事例も見受けられた。
→代表者会議において申請方法および必要物について改めて詳細に説明を行う。各席に「コンディショニング席」の掲示を行い、適切な利用を促す。
- 4) 開場時間および規定のコートイン時刻前に入場するチームが見受けられた。
→受付付近への案内掲示を実施する。

2, 報告事項

- 1) 無線機を購入したことにより、全会場においてタイマーの対面設置が可能となった。

3, 検討事項

- 1) 体育館借用に関する調整について
→1月中に大学体育館への都合伺いを実施する。

【審判部】

1, 課題点、改善策

- 1) 帯同審判を初戦にたくさん入れるべきだった
→リーグ戦から積極的に使う

2, 報告事項

- 1) 審判員とはGoogleフォームにてやり取りをしているが、回答していないと言われるなど、連絡の行き違いがあったが、再度返信確認やリマインド確認などし、事前に対応できた。